

# ひるば

敷居の低い 癒しの場としての病院を目指して

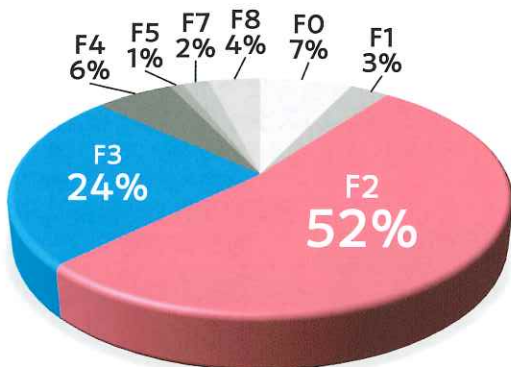


## 最近の関サナについて 救急・急性期病棟を中心に紹介します

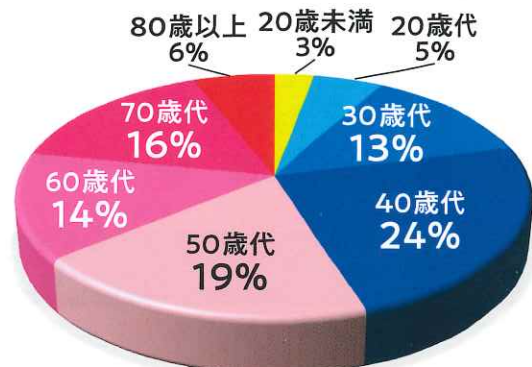
救急・急性期病棟に入院された方の疾病別割合では統合失調症圏が最多で 52%、次いで気分障害圏が 24%でした。(グラフ①) 当院は、統合失調症・気分障害圏の患者さんの治療に力を入れています。

年齢別割合では40歳代以下が45%と、昨年から7%減少し、70歳代以上が2%増加でした。(グラフ②) 昨年と比較すると50歳以下の患者さんが減り、70歳以上が少し増え当院も少しずつ高齢化の影響を受けています。

外来延べ患者数は、前年度から約 10%増加となりました！(グラフ③) 地域生活を中心に治療・支援を展開しているため、外来患者さんの数が増えています。また、なるべく患者さんをお待たせすることなく丁寧に診察したいという方針で、昨年、外来診察室を3室から6室へと増設しています。

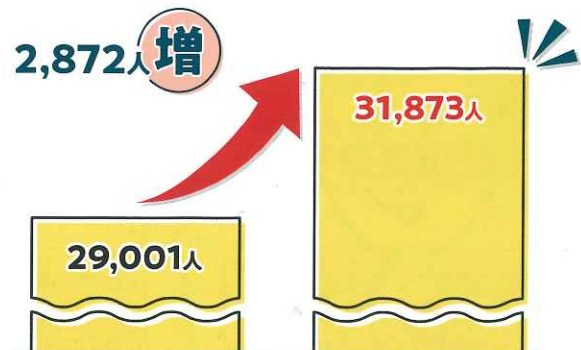


R3年度疾病別入院患者数(急性期・救急病棟) グラフ①



R3年度年齢別入院患者数 グラフ②

- F0 症状性を含む器質性精神障害
- F1 精神作用物質による精神及び行動の障害
- F2 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害
- F3 気分(感情)障害
- F4 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害
- F5 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群
- F6 成人の人格及び行動の障害
- F7 知的障害(精神遅滞)
- F8 心理的発達の障害
- F9 小児(児童)期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害



外来延べ患者数 グラフ③

必要な時に「適切な入院治療」そして「その人らしい地域生活」に伴走するという当たり前の医療・福祉サポートを実現することが私たちの願いです。

これからも「本当に必要としている人に手が届く支援」を目標に“オール東峰会”で取り組みます。

## オール東峰会 スタッフ紹介

患者さんと直接接することの多い医師や看護師以外にもいろんな職種のスタッフが心を込め、力を合わせて支援しています。今回は職員の声、想いをお届けします。



薬局長  
梅田 佳代(薬剤師)

「そこに愛はあるのか？を  
モットーに」

入院から外来までかかわれること、多職種の連携を実感できることにやりがいを感じています。これからも薬局の中だけでなく、病棟や在宅訪問にかかわる時間を増やしたいです。そしてもっと薬剤師目線の想いを発信して、患者さんのためになる支援ができるように頑張ります。



栄養課課長  
森 裕子(管理栄養士)

「季節感、食べる楽しみを  
大切にメニュー作り」

患者さんに「美味しかった」「食事が楽しみ」と言ってもらえることが嬉しいです。可能な限り個別対応をしながら、行事食を毎月入れて患者さんの入院中の楽しみになる食事を提供しています。栄養課全体で給食・栄養に対して知識を深め、患者さんに365日3食、安心安全に出すことに力を入れています。



受付スタッフ

「安心できるお声かけを  
目指しています」

患者さんひとりひとりのニーズに合わせた対応を心掛け、患者さんに安心できるようなお声掛けを行っています。思いやり、立場を理解しながら気持ちの良い関係を持ち快適な環境を作り出すことをモットーに対応接遇を行っています。



「いつも花をみて癒されていました」「お掃除の方が笑顔であいさつしてくれてほっとしました」など患者さんやご家族からのお声かけをいただいています。個性的で優しいスタッフが多いと噂の関サナです。今後ともよろしくをお願いします。

今年入職した職員にも  
話を聞きました

## ～新人の声～

北2病棟の進藤です。毎日が勉強ですが一日でも早く皆様のお役に立てるようにがんばります。どうぞよろしく申し上げます。



北2病棟看護師  
進藤 磨智子

この病院では患者さんとかかわる時間がたくさんあるため、患者さんがどういった思いで入院や退院を目指しているのかを知る事ができます。僕自身は患者さんの強みを引き出し、自分のできる力に着目しています。日々の中で、患者さんと信頼関係を築いていくことができ、毎日楽しく働くことができます。



北3病棟看護師  
堀米 大志

初めてのことや覚えることが多くまだまだ緊張の連続ですがたくさんの先輩方に支えていただき充実した日々を過ごせています。



中2病棟看護師  
中尾 豪

3ヶ月間の研修での学びを生かし、「人」対「人」の気持ちを忘れずワーカーの業務を行いたいと思います。患者さんと一緒に考え、悩みながら成長できるワーカーを目指し、頑張ります。

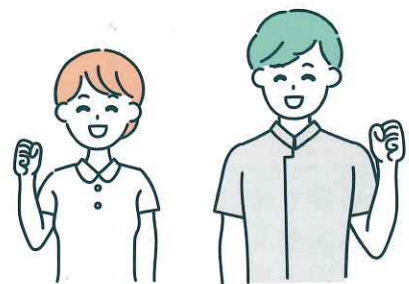


PSW  
上田 怜奈

まずは顔を覚えてもらい、患者さんにとって安心できる存在になりたいと思っています。患者さんの思いに応えられるよう今は制度の事など基礎的なことを積み重ねていきたいです。



PSW  
大野 ほのか



# 「夏休み明けの 子どものこころ」

精神科のお医者さんに  
聞きました

子どもさんたちの今年の夏休みはどうでしたか。海水浴やプール、家族での旅行、久しぶりに祖父母やいとこと会う、友達と遊ぶ、ゲームをする、ゆっくりと本を読む、部活動を頑張るなど。夏休みの良い思い出は人生を彩るものの一つです。コロナ禍で制限がある中ではありますが、自分を豊かに支えてくれる経験ができていたらいいですね。

ところで近年、夏休み明けに頭痛や腹痛、朝起きにくいなど体調の異変を訴え、学校に行くにくくなる子が多くなる事が知られるようになりました。頑張っても眠れなかったり、「起立性調節障害」という状態であるかもしれません。もちろん夏休みで生活リズムが乱れた影響もありえます。それでも「気のせい」や「怠け癖」で済ますことなくきつい症状があれば医療機関に相談を。

あるいは一学期から続いている問題が解決せず、いったん小休止であった夏休みが過ぎてまた目の前の現実として現れたのかもしれません。友達との関係、勉強のこと、部活のこと。何が問題なのか分からないこともしばしばあります。最も辛いのは自分が一人きりになってしまった、と思うことではないでしょうか。子どもが追いつめられていっぱいいっぱいになっていませんか。まずは「心配している」ということを伝えてゆっくりと話をきいてあげてください。上手に話せないこともあります。親には心配をかけたくないかもしれないし、自分が何に困っているのか分からないかもしれない。できれば話をさえぎらず。正論を言われると言葉が出てこなくなってしまう。大人は「今は苦しいけど何とかなる」という経験に裏打ちされた思いのもと、子どもが安心して過ごせるよう見守っていくことが出来ればと思います。

教育研修担当部長・  
医局 思春期外来担当  
内藤 憲一

家庭内だけで抱え込まずに学校の先生や医療機関などにもご相談下さい。子どもが直接相談できる電話相談やSNSもあります。



## お医者さんを紹介します



よしだ かずふみ  
**吉田 和史 先生**

出身：千葉県  
趣味：登山



### 精神科を選んだ理由は？

私自身、これまで人に助けられ、人に支えられて今の自分があるから、でしょうか。

### 仕事をしていて何を大切にしていますか？

治療の中で、患者さんの想いや希望を大切にしています。

### みなさんに一言どうぞ

しんどい時は一人で抱え込まず、思い切って人を頼ってみましょう。

## 外来担当医のご案内

### 外来再診担当医 受付時間 8:50 ~ 15:00

診察時間	月	火	水	木	金	土
午前診 9:15~12:00	狩場 9:40~	鬼頭	内藤	瀬川	佐伯	当番医
午後診 13:00~16:50	朴	西村	岡本	瀬川14:00~15:00 高尾	頼 赤堀	—

### 初診外来・入院 担当医 曜日別下記に常勤医師を中心に、上記の外来再診担当医以外の医師が診察します (順不同)

月	火	水	木	金	土
佐伯	内藤	頼	佐伯	朴	当番医①
岡本	吉田	朴	狩場	岡本	当番医②
赤堀	赤堀	狩場	吉田	石橋	当番医③
高尾	石橋	橋本	石橋	橋本	

## 専門外来担当医のご案内

☆ < 児童思春期外来 > 毎週月曜午後 **完全予約制** (担当：内藤医師)

☆ < 発達障害専門外来 > 第3金曜午後 (月1回) **完全予約制** (担当：上月医師)

### 編集後記

最近、患者さんと花の話題をすることが増えました。「私の顔くらい大きい！」とひまわりを眺めたり、育て方を教えてもらったり、いい香りを一緒に嗅いだりと良い影響をたくさんもらっています。私もひまわりのように大きく元気に成長していきたいです。

(作業療法士：岩本彩花)